

# 彼方 【かなた】

校長通信

H30.3.19

Vol.29

## 【学年末保護者会】

過日、厳肅な中、心温まる「第39回卒業証書授与式」を開催することができ、二六二名の三年生が無事に巣立っていきました。

今年度も残りわずか4日となりました。四月に本校に着任し、修学旅行や林間学校、清水公園での校外学習から始まり、市内陸上や各部活動の葛南大会、県大会、コンクール等が続き、2年生の職場体験、体育祭と駆け足のように2学期に突入しました。その後は東葛駅伝優勝、県駅伝優勝、関東駅伝優勝そして全国駅伝優勝という歴史に残るものすごい瞬間に居合わせることができました。2学期後半から三年生の進路面接を行い、進路実現につなげていくことができました。多くの場面で保護者の皆様にご理解ご協力をいただいたことに改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、今年度ももう少し振り返ってみたいと思います。学校グラウンドデザインに記されている学校教育目標「みがき合い・支え合う、心豊かで、たくましい生徒の育成」を目指して教育活動を進めて参りました。大きな成果としては、①授業改革の意識が高まったことです。「主体的、対話的で深い学び」いわゆるアクティブ・ラーニングを意識した授業づくりを進めてきたことです。具体的には、学習課題をはっきりさせること、「わかったこと・できたこと」をまとめて確認できるようにすることで、「主体的な

学び」を作り、教科書や教材とじっくり向き合い、自分の考えをつくり、仲間と考え方をすりあわせる「対話的な学び」の場を設定し、学んだことを使って新たな課題を見つけ、解決しようとする「学びのスパイラル」を作っていく「深い学び」が意識されるようになってきたと思います。実績としては、まだまだ四割にも満たない感じだと思えますが、教員や生徒の意識は確実に高まってきていると思います。それが学力面にも大きく反映されてきています。点数的なものはもちろんですが、わからないところを自分から聞こうとする態度が養われてきたのはとても大きなことです。卒業した三年生の進路実績にも好影響を与えてきたと実感しています。

②三つの伝統「挨拶」「歌声」「清掃」について生徒が主体的に取り組んだことです。特に「挨拶」は生徒会の挨拶運動をきっかけに改善が図られ、向上しました。「歌声」や「清掃」についても2年生を中心によく取り組み、改善されてきました。一年生の「挨拶」や「右側通行」に対する取り組みも非常に主体的でリーダー性が感じられました。

③部活動での実績や作文や書道、ポスター等、多岐に渡る、本当にいろいろな分野での活躍が見られました。何より自分ができることに集中して取り組んでいる姿が沢山見られました。

いい面の裏返しですが、そのまま次年度の課題でもあります。学習面ではわからなくてもそのままにしてしまうこと、自分の考えを表出せずに磨かれないこと、学んだことを次に生かしていないことなどがそのまま次年度の課題となります。

三つの伝統についても同様です。授業前後の決められた挨拶はよくできるのですが、学校へ訪ねてきた方々への挨拶や先生方への挨拶等を見ると、自分で考えて動くことができない場面も多かったように思います。「歌声」や「清掃」についても取り組みに対する個人差が大きくなっていたり、活動場所によって大きな差があったりするのも次年度の課題だと思えます。

最も大きな課題は、長欠対策です。どんな取り組みも心身ともに健康で、みんなが学校に来られるからできるのです。インフルエンザの流行時のように具合が悪かったり、他者との関係がうまくいかなかったりすれば、やることすら叶わなくなってしまいます。来年度は一人でも多くの生徒が学校に楽しさを見つけられるようにしなければならぬと思います。学校が楽しくなければ来たくもありません。これは生徒も教師も同じです。

最後に来年度に向けてです。新3年生については、進路や修学旅行の取り組み等を考え、学級編制をすることなく進級させていきます。教室は2階に配置します。クラスナンバーは変わる場合もありますのでご了解ください。新2年生は、生徒数を考えるので6クラス編制ですが、弾力的な編制を行いますので今年度同様7クラス編制でいきます。ちなみに入学してくる1年生は35人学級になるので、8クラス編制となります。併せて、なのはな学級が2クラス、ひまわり学級が3クラスとなり、平成30年度は、27学級でのスタートとなります。

一年間本当にありがとうございました！